

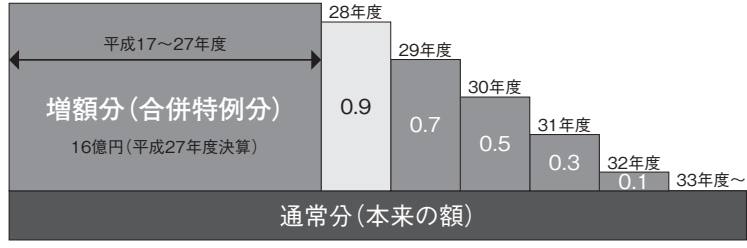


来年度の予算編成は

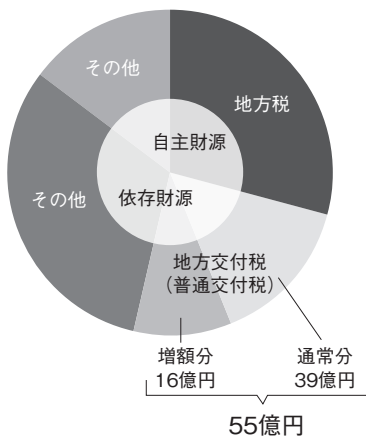
近藤 武 議員

未来に責任ある礎を築く
ため道筋をつけたい

市長



▲合併算定替による特例の段階的縮減(イメージ)



▲歳入構造 (平成27年度決算)

本年度の税収見直しは。

総務部長 市内の法人決算や個人所得に不安があるが、直近までの調定額は、当初予算で見込んだ額で推移している。

来年度の財政見直しは。

総務部長 歳入面では、合併算定替えによる交付

税の増加分の縮減がある内、市税はほぼ横ばい、

地方税の伸び悩みや消費税率引き上げの見送りに

より、地方交付税の減額が懸念され、財源確保が

より厳しくなる。歳出面

では、高齢化に伴う扶助費を始めとした社会保障

費の増加、公共施設の老朽化対策費の増加が見込まれる。

予算の効率化と政策推進は。

総務部長 厳しい財政状況の中でも、市の発展、

市民生活に関連する施策については、事業の停滞

が無いよう考えている。一般行政経費については、

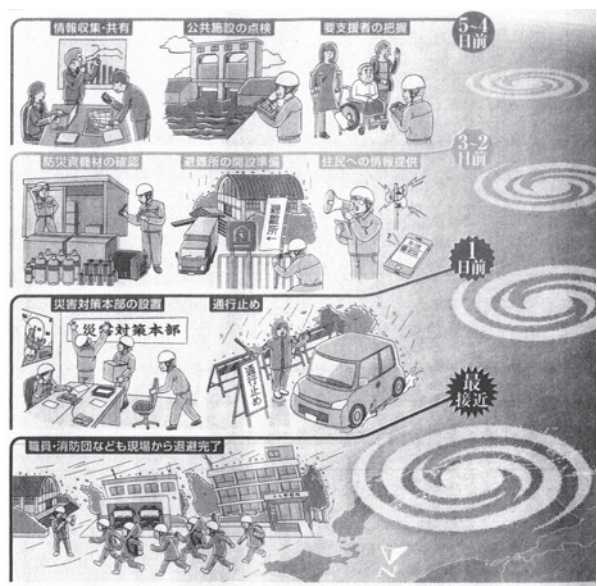
思い切った効率化をするが、優先課題に対しては、

政策の特別枠を設け、国・県の財源も積極的に活用し、

事業の着実な推進を図っていく。

財政状況と地方交付税は。

は。



▲三重県紀宝町のタイムラインの例

総務部長 現在、合併特例の増加分の交付税を

使用して、国基準以上の独自サービスを

行っている。合併特例期間終了まで、

行政改革努力せず、毎年度、

数億円単位で蓄えを取り崩していくと、

基金が枯渇し、負債だけが残る状態になる。

市長 未来に責任ある礎を築くため道筋をつけたい。

(危機管理行動計画)は。

市民協働部長 市独自のものは、

木曾川下流河川事務所との間で台風

風水害を対象とした避難勧告の発令等に

着目したタイムラインを策定している。

BCP (業務継続計画)の策定は。

市民協働部長 現在、

策定だが、策定について通常業務の洗い出し

を行い、非常時優先業務を選定し、

本市の防災は

愛西市版タイムライン